

報道資料

令和7年1月30日

報道機関各位

国立大学法人長岡技術科学大学

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の採択について

文部科学省の令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」(以下、本事業)に、本学が提案した「公立大・高専連携による技術科学コンセプトの拡張とソーシャルインパクト創出型SX研究大学の創生」が採択されました。

本事業は、地域の中核大学や特定分野の研究に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。

採択された事業の概要は別紙のとおりです。

なお、2月28日(金)の定例記者会見にて、本事業の構想を説明いたしますので、ご取材ください。

【学長コメント】

このたび令和6年度のJ-PEAKSに採択され本学が果たすべき役割の大きさに大変重い責任を感じております。

開学50周年を迎えるタイミングでの本事業の採択は、開学以来取り組んできた産学連携、高専連携による実績と、あらたなソーシャルインパクトを創出し持続可能な社会の構築を目指す研究とそのシステムが評価されたものと考えます。

今後、地域社会の課題解決と日本の研究力をけん引する研究大学群の一員として、地域・社会に対して更なる貢献が出来るよう努めてまいります。

《問い合わせ先》

定例記者会見に関する問い合わせ： 大学戦略課 企画・広報室 電話：0258-47-9209

メール：skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp

事業に関する問い合わせ： 産学連携・研究推進課 地域共創室 電話：0258-47-9275

メール：chiiki@jcom.nagaokaut.ac.jp

【公立大・高専連携による技術科学コンセプトの拡張とソーシャルインパクト創出型 SX 研究大学の創生】

提案大学: 国立大学法人長岡技術科学大学

連携大学: 公立大学法人大阪 大阪公立大学、公立大学法人 国際教養大学、
学校法人新潟科学技術学園 新潟薬科大学

事業概要:

■10年後に目指す大学像■

SX 研究大学とは、社会と大学のサステナビリティの共進化により、社会変革を生み出し続ける大学像である。

「日本ブランド」を育んだ「技術科学」のコンセプトを「総合知」へ拡張し、海外連携を活用して研究の質を向上する。国内連携により「バーチャル総合大学化」を果たすとともに、公立大・高専連携を活用した産官学金民との対話とエンゲージメントを通じて「ソーシャル・インパクト」を生み出し続ける地域を牽引する研究大学として機能を強化し、これら取り組みを通じて世界トップ 1%(THE ランク 300 位相当)の SX 研究大学を目指す。

■4つの社会変革ターゲット■

- ①ビヨンド・マニュファクチャリング(製造・モビリティ等)
- ②ビヨンド・リソース(資源・エネルギー・食料生産・農業等)
- ③ビヨンド・プロテクション(環境・水・廃棄物・リサイクル等)
- ④ビヨンド・プロモーション(地域振興・高齢化・少子化等)

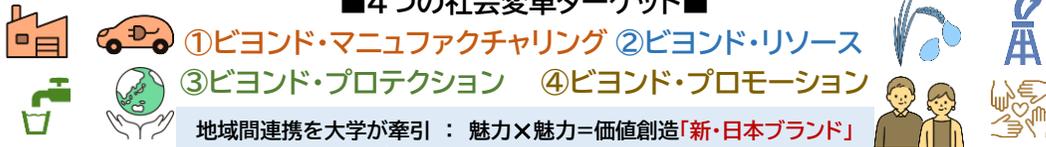
事業期間: 令和7年4月～令和12年3月(5年間)

事業規模: 総額55億円(連携大学分含む)

■10年後に目指す大学像■

SX研究大学とは、社会と大学のサステナビリティの共進化により、**社会変革を生み出し続ける大学像**である。「日本ブランド」を育んだ「技術科学」のコンセプトを「総合知」へ拡張し、海外連携を活用して**研究の質を向上**する。国内連携により「バーチャル総合大学化」を果たすとともに、公立大・高専連携を活用した産官学金民との対話とエンゲージメントを通じて「ソーシャル・インパクト」を生み出し続ける**地域を牽引する研究大学**として機能を強化し、これら取り組みを通じて**世界トップ1%(THEランク300位相当)のSX研究大学**を目指す。

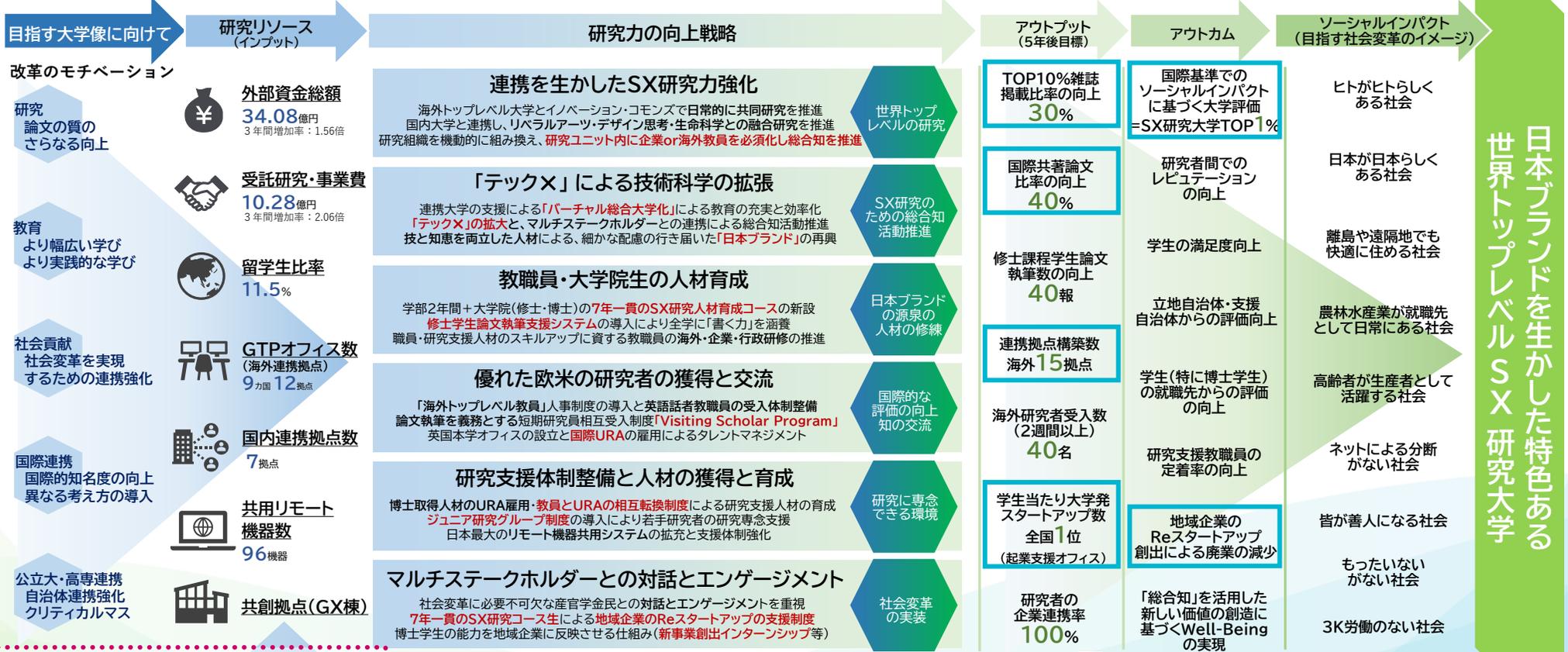
■4つの社会変革ターゲット■



■ベンチマーク大学(LUT)へのキャッチアップ■

-数値目標(10年後)-		一定性側面-
TOP10%論文率 25% (28.9%) (LUT大学の数値)	国際共著論文率 40% (69%)	<ul style="list-style-type: none"> ■世界TOPレベルのSX研究大学 ■国際研究拠点としての地位確立 ■論文執筆制度の導入による国際連携強化

ラッペンランタ・ラハティ工科大学(LUT)は、フィンランドの公立科学大学であり生命を生む資源としてのエネルギー・水・空気分野に集中投資したSX研究大学の一つである。2015年からの10年間で飛躍的に成長した大学であり、ベンチマークだけでなく、本事業に参画し、共に切磋琢磨する。LUTの成長の例:Top10%論文比率が2013年からの10年間で**18.2%から28.9%**に向上



■スローガン■

SX研究大学としてトップ1%!
研究者全員が企業と連携し社会変革を創出!
新・日本ブランドで世界に訴求!

持続的価値創造に向けた再投資

価値創造に基づくリソースの獲得手法の多様化と運用手法の開発
地域中核大学アライアンス法人設立・国際機関連携・公共エンゲージメント・海外大学とのフィランソピー団体連携・ESG投資の寄付

KPI指標有